

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【公開番号】特開2008-159064(P2008-159064A)

【公開日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-027

【出願番号】特願2007-341062(P2007-341062)

【国際特許分類】

G 06 F 3/048 (2006.01)

H 04 M 1/02 (2006.01)

H 04 M 1/247 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/048 6 5 7 A

H 04 M 1/02 C

H 04 M 1/247

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月17日(2008.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

使用状態に対応した機能が割り当てられた主ソフトキーと、

前記使用状態に対応し、前記主ソフトキーの機能とは異なる機能が割り当てられた副ソフトキーと、

前記主ソフトキーおよび前記副ソフトキーに割り当てられた前記各機能を表す主機能アイコンおよび副機能アイコンを表示する表示画面と、

前記使用状態に対応した機能から前記主ソフトキーまたは前記副ソフトキーのいずれかを操作することによって一つの機能を選択して異なる使用状態へ移行させ、移行した使用状態に対応した機能の少なくとも一つを前記主ソフトキーまたは前記副ソフトキーに割り当てるとともに、前記主機能アイコンまたは前記副機能アイコンのうち少なくとも一つのアイコンの表示を変更する制御手段と、

を備えたことを特徴とする携帯端末。

【請求項2】

使用状態に対応した機能が割り当てられた主ソフトキーと、

前記使用状態に対応し、前記主ソフトキーの機能とは異なる機能がそれぞれ割り当てられた第1の副ソフトキーおよび第2の副ソフトキーと、

前記主ソフトキー、前記第1の副ソフトキーおよび前記第2の副ソフトキーに割り当てられた前記各機能を表す主機能アイコン、第1の副機能アイコンおよび第2の副機能アイコンを表示する表示画面と、

前記使用状態に対応した機能から前記主ソフトキー、前記第1の副ソフトキー、または前記第2の副ソフトキーのいずれかを操作することによって一つの機能を選択して異なる使用状態へ移行させ、移行した使用状態に対応した機能の少なくとも一つを前記主ソフトキー、前記第1の副ソフトキー、または前記第2の副ソフトキーのいずれかに割り当てるとともに、前記主機能アイコン、前記第1の副機能アイコンまたは前記第2の副機能アイコンのうち少なくとも一つのアイコンの表示を変更する制御手段と、

を備えたことを特徴とする携帯端末。

【請求項 3】

使用状態に対応した複数の機能が割り当てられた主ソフトキーと、

前記使用状態に対応し、前記主ソフトキーの機能とは異なる機能が割り当てられた副ソフトキーと、

前記主ソフトキーに割り当てられた機能を表す複数の主機能アイコンを表示し、前記副ソフトキーに割り当てられた機能を表す副機能アイコンを表示する表示画面と、

前記使用状態に対応した機能から前記主ソフトキーを操作することによって前記主ソフトキーに割り当てられた一つの機能を選択して異なる使用状態へ移行させ、移行した使用状態に対応した機能の少なくとも一つを前記主ソフトキーまたは前記副ソフトキーに割り当てるとともに、前記主機能アイコンまたは前記副機能アイコンのうち少なくとも一つのアイコンの表示を変更する制御手段と、

を備えたことを特徴とする携帯端末。

【請求項 4】

使用状態に対応した複数の機能が割り当てられた主ソフトキーと、

前記使用状態に対応し、前記主ソフトキーの機能とは異なる機能がそれぞれ割り当てられた第1の副ソフトキーおよび第2の副ソフトキーと、

前記主ソフトキーに割り当てられた機能を表す複数の主機能アイコンを表示し、前記第1の副ソフトキーおよび前記第2の副ソフトキーに割り当てられた各機能を表す第1の副機能アイコンおよび第2の副機能アイコンを表示する表示画面と、

前記使用状態に対応した機能から前記主ソフトキーを操作することによって前記主ソフトキーに割り当てられた一つの機能を選択して異なる使用状態へ移行させ、移行した使用状態に対応した機能の少なくとも一つを前記主ソフトキー、前記第1の副ソフトキーまたは前記第2の副ソフトキーに割り当てるとともに、前記主機能アイコン、前記第1の副機能アイコンまたは前記第2の副機能アイコンのうち少なくとも一つのアイコンの表示を変更する制御手段と、

を備えたことを特徴とする携帯端末。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記移行した使用状態に対応した機能のうち前記主ソフトキーまたは前記副ソフトキーに割り当てられていない機能がある場合には、該割り当てられていない機能を表す前記主機能アイコンまたは前記副機能アイコンを表示しない

ことを特徴とする請求項1から4のいずれか一つに記載の携帯端末。

【請求項 6】

回転自在で、かつ中央部の押下によりスイッチングし、使用状態に対応した複数の機能が割り当てられた主ソフトキー要素、

および両端部の押下によりそれぞれスイッチングし、かつ前記使用状態に対応し、前記主ソフトキー要素の機能とは異なる機能がそれぞれ割り当てられた第1の副ソフトキー要素および第2の副ソフトキー要素、

からなる略筒状のソフトキーと、

前記主ソフトキー要素、前記第1の副ソフトキー要素および前記第2の副ソフトキー要素に割り当てられた前記各機能を表す主機能アイコン、第1の副機能アイコンまたは第2の副機能アイコンを表示する表示画面と、

前記使用状態に対応した機能から前記ソフトキーを回転、前記ソフトキーを回転および前記主ソフトキー要素を押下、または前記第1の副ソフトキー要素もしくは前記第2の副ソフトキー要素を押下することによって一つの機能を選択して異なる使用状態へ移行させ、移行した使用状態に対応した機能の少なくとも一つを前記主ソフトキー要素、前記第1の副ソフトキー要素または前記第2の副ソフトキー要素のいずれかに割り当てるとともに、割り当てられた前記主機能アイコン、前記第1の副機能アイコンまたは前記第2の副機能アイコンを表示する制御手段と

を備えたことを特徴とする携帯端末。

【請求項 7】

前記表示画面には、前記主ソフトキー要素に割り当てられた複数の機能を表す複数の前記主機能アイコンを表示することを特徴とする請求項 6 に記載の携帯端末。

【請求項 8】

回転自在で、かつ押下によりスイッチングし、使用状態に対応した複数の機能が割り当てられた主ソフトキーと、

前記使用状態に対応し、前記主ソフトキーの機能とは異なる機能が割り当てられた副ソフトキーと、

前記主ソフトキーまたは前記副ソフトキーに割り当てられた前記各機能を表す主機能アイコンまたは副機能アイコンを表示する表示画面と、

前記使用状態に対応した機能から前記主ソフトキーを回転、前記主ソフトキーを回転および押下、または前記第 1 の副ソフトキーもしくは前記第 2 の副ソフトキーを押下することによって一つの機能を選択して異なる使用状態へ移行させ、移行した使用状態に対応した機能の少なくとも一つを前記主ソフトキーまたは前記副ソフトキーのいずれかに割り当てるとともに、割り当てられた前記主機能アイコンまたは前記副機能アイコンを表示する制御手段と

を備えたことを特徴とする携帯端末。

【請求項 9】

前記表示画面には、前記主ソフトキーに割り当てられた複数の機能を表す複数の前記主機能アイコンを表示することを特徴とする請求項 8 に記載の携帯端末。

【請求項 10】

回転自在で、かつ中央部の押下によりスイッチングし、使用状態に対応した機能が割り当てられた主ソフトキー要素、

および両端部の押下によりそれぞれスイッチングし、かつ前記使用状態に対応し、前記主ソフトキー要素の機能とは異なる機能がそれぞれ割り当てられた第 1 の副ソフトキー要素および第 2 の副ソフトキー要素、

からなる略筒状のソフトキーと、

前記主ソフトキー要素、前記第 1 の副ソフトキー要素または前記第 2 の副ソフトキー要素に割り当てられた前記各機能を表す主機能アイコン、第 1 の副機能アイコンまたは第 2 の副機能アイコンを表示する表示画面と、

前記使用状態に対応した機能から前記ソフトキーを回転または前記主ソフトキー要素を押下、あるいは前記第 1 の副ソフトキー要素または前記第 2 の副ソフトキー要素を押下することによって一つの機能を選択して異なる使用状態へ移行させ、移行した使用状態に対応した機能の少なくとも一つを前記主ソフトキー要素、前記第 1 の副ソフトキー要素または前記第 2 の副ソフトキー要素のいずれかに割り当てるとともに、割り当てられた前記主機能アイコン、前記第 1 の副機能アイコンまたは前記第 2 の副機能アイコンを表示する制御手段とを備え、

前記表示画面には、前記主ソフトキー要素、前記第 1 の副ソフトキー要素または前記第 2 の副ソフトキー要素の所定の操作に応じて、複数の項目が表示され、

前記主ソフトキー要素は、回転操作により前記複数の項目の中から任意の項目を選択することを特徴とする携帯端末。

【請求項 11】

回転自在で、かつ押下によりスイッチングし、使用状態に対応した機能が割り当てられた主ソフトキーと、

前記使用状態に対応し、前記主ソフトキーの機能とは異なる機能が割り当てられた副ソフトキーと、

前記主ソフトキーまたは前記副ソフトキーに割り当てられた前記各機能を表す主機能アイコンまたは副機能アイコンを表示する表示画面と、

前記使用状態に対応した機能から前記主ソフトキーを回転または押下、あるいは前記副ソフトキーを操作することによって一つの機能を選択して異なる使用状態へ移行させ、移

行した使用状態に対応した機能の少なくとも一つを前記主ソフトキーまたは前記副ソフトキーのいずれかに割り当てるとともに、割り当てられた前記主機能アイコンまたは前記副機能アイコンを表示する制御手段とを備え、

前記表示画面には、前記主ソフトキー、副ソフトキーの所定の操作に応じて、複数の項目が表示され、

前記主ソフトキーは、回転操作により前記複数の項目の中から任意の項目を選択することを特徴とする携帯端末。

【請求項 1 2】

種々の情報を表示する表示画面と、

第1および第2のいずれかの方向に作動されることによってスクロール操作を実行し、押圧されることによって選択操作を実行する主ソフトキーと、

前記主ソフトキーの近傍に設けられ、少なくとも押圧されることによって選択操作を実行する第1の副ソフトキーとを備え、

前記主ソフトキーによるスクロール操作および選択操作、または、前記第1の副ソフトキーによる選択操作によって実行される様々な異なる機能が前記主ソフトキーおよび前記第1の副ソフトキーに割り当てられ、

現在の使用状態に対応して前記主ソフトキーおよび前記第1の副ソフトキーに割り当てられている機能が前記表示画面のうちの前記主ソフトキーおよび第1の副ソフトキーの近傍に設けられた機能表示領域に表示される

ことを特徴とする携帯端末。

【請求項 1 3】

前記主ソフトキーに割り当てられた複数の前記機能が前記機能表示領域のうちの前記主ソフトキーの近傍に表示され、

前記ソフトキーに割り当てられた前記複数の機能のうちの所定の機能が、前記主ソフトキーの作動および押圧によって実行される

ことを特徴とする請求項 1 2 に記載の携帯端末。

【請求項 1 4】

前記主ソフトキーおよび前記第1の副ソフトキーの近傍に第2の副ソフトキーを備え、現在の使用状態に対応して前記第2の副ソフトキーに割り当てられている機能が前記表示画面の前記機能表示領域に表示され、

前記主ソフトキーおよび前記第1の副ソフトキーに割り当てられた機能が前記第2の副ソフトキーの選択操作を実行することで変化する

ことを特徴とする請求項 1 2 に記載の携帯端末。

【請求項 1 5】

前記主ソフトキーは回転可能で、前記第1および第2のいずれかの方向に回転することによってスクロール操作を実行する

ことを特徴とする請求項 1 2 に記載の携帯端末。

【請求項 1 6】

種々の情報を表示する表示画面と、

第1および第2のいずれかの方向に作動されることによってスクロール操作を実行し、中央部が押圧されることによって選択操作を実行し、両端部が押圧されることによってそれぞれの選択操作を実行する延長ソフトキーとを備え、

スクロール操作並びに中央部および端部の選択操作によって実行される様々な異なる機能が前記延長ソフトキーの中央部および両端部に割り当てられており、

現在の使用状態に対応して前記延長ソフトキーの前記中央部と両端部に割り当てられている機能が前記表示画面のうちの前記延長ソフトキーの近傍に設けられた機能表示領域に表示される

ことを特徴とする携帯端末。

【請求項 1 7】

前記延長ソフトキーの中央部に割り当てられた複数の前記機能が、前記機能表示領域の

うちの前記中央部の近傍に表示され、

前記複数の機能のうちの所定の機能が、前記延長ソフトキーの作動および中央部の押圧によって実行される

ことを特徴とする請求項 1 6 に記載の携帯端末。

【請求項 1 8】

割り当てられた機能はテキスト形式で表示される

ことを特徴とする請求項 1 2 または 1 6 に記載の携帯端末。

【請求項 1 9】

割り当てられた機能はグラフィックアイコンで表示される

ことを特徴とする請求項 1 2 または 1 6 に記載の携帯端末。

【請求項 2 0】

前記延長ソフトキーは回転可能で、前記第 1 および第 2 のいずれかの方向に回転されることによってスクロール操作を実行する

ことを特徴とする請求項 1 6 に記載の携帯端末。

【請求項 2 1】

使用状態に対応した機能が割り当てられる主ソフトキーと、

前記使用状態に対応し、前記主ソフトキーの機能とは異なる機能が割り当てられる副ソフトキーと、

複数の選択項目表示、前記主ソフトキーの機能を表す主機能アイコン、および前記副ソフトキーの機能を表す副機能アイコンを含む複数種類の選択画面を表示する表示画面とを備え、

前記複数種類の選択画面のうち少なくとも二つの選択画面に含まれる前記主機能アイコンが異なっている

ことを特徴とする携帯端末。

【請求項 2 2】

前記少なくとも二つの選択画面のうち一方の選択画面において「選択」の文字列を含む主機能アイコンが表示され、他方の選択画面においてその他の文字列を含む主機能アイコンが表示される

ことを特徴とする請求項 2 1 に記載の携帯端末。

【請求項 2 3】

少なくとも一つの使用状態において、前記副ソフトキーに機能を割り当てる一方で前記主ソフトキーに機能を割り当てず、前記副ソフトキーの機能を表す副機能アイコンを表示する一方で前記主機能アイコンを表示しない

ことを特徴とする請求項 2 1 に記載の携帯端末。

【請求項 2 4】

機能が割り当てられる主ソフトキーと、

前記主ソフトキーの機能とは異なる機能が割り当てられる副ソフトキーと、

前記主ソフトキーの機能を表す主機能アイコン、または前記副ソフトキーの機能を表す副機能アイコンを表示する表示画面とを備え、

この表示画面に前記主機能アイコンを表示しているときに前記主ソフトキーを選択すると、前記主機能アイコンを表示せずに前記副機能アイコンを表示する

ことを特徴とする携帯端末。

【請求項 2 5】

機能が割り当てられる主ソフトキーと、

前記主ソフトキーの機能とは異なる機能が割り当てられる副ソフトキーと、

前記主ソフトキーの機能を表す主機能アイコン、または前記副ソフトキーの機能を表す副機能アイコンを表示する表示画面とを備え、

この表示画面に前記副機能アイコンを表示しているときに前記副ソフトキーを選択すると、前記副機能アイコンを表示せずに前記主機能アイコンを表示する

ことを特徴とする携帯端末。

【請求項 2 6】

使用状態に対応した機能が割り当てられた主ソフトキーと、

前記使用状態に対応し、前記主ソフトキーの機能とは異なる機能が割り当てられた第1の副ソフトキーと、

前記主ソフトキーおよび前記第1の副ソフトキーに割り当てられた前記各機能を表す主機能アイコンおよび第1の副機能アイコンを表示する表示画面と、

前記使用状態に対応した機能から前記主ソフトキーまたは前記第1の副ソフトキーによって一つの機能が選択されることにより異なる使用状態へ移行させ、移行した前記使用状態に対応した機能を前記主ソフトキーまたは前記第1の副ソフトキーに新たに割り当て、前記主ソフトキーの機能および前記第1の副ソフトキーの機能とは異なる一つの機能を第2の副ソフトキーに割り当てるとともに、前記主機能アイコンまたは前記第1の副機能アイコンの表示を新たに割り当てた機能に対応させて変更し、前記第2の副ソフトキーに割り当てられた前記機能を表す第2の副機能アイコンを表示する制御手段と、

を備えたことを特徴とする携帯端末。

【請求項 2 7】

使用状態に対応した機能が割り当てられた主ソフトキーと、

前記使用状態に対応し、前記主ソフトキーの機能とは異なる機能が割り当てられた第1の副ソフトキーと、

前記主ソフトキーおよび前記第1の副ソフトキーに割り当てられた前記各機能を表す主機能アイコンおよび第1の副機能アイコンを表示する表示画面と、

前記使用状態に対応した機能から前記主ソフトキーまたは前記第1の副ソフトキーによって一つの機能が選択されることにより異なる使用状態に移行させ、移行した前記使用状態に対応した機能をそれぞれ前記主ソフトキーおよび前記第1の副ソフトキーに新たに割り当て、前記主ソフトキーの機能および前記第1の副ソフトキーの機能とは異なる一つの機能を第2の副ソフトキーに割り当てるとともに、前記主機能アイコンおよび前記第1の副機能アイコンの表示を新たに割り当てた機能に対応させて変更し、前記第2の副ソフトキーに割り当てられた前記機能を表す第2の副機能アイコンを表示する制御手段と、

を備えたことを特徴とする携帯端末。

【請求項 2 8】

使用状態に対応した機能が割り当てられた主ソフトキーと、

前記主ソフトキーに割り当てられた前記機能を表す主機能アイコンを表示する表示画面と、

前記使用状態に対応した機能から前記主ソフトキーによって一つの機能が選択されることにより異なる使用状態に移行させ、移行した前記使用状態に対応した機能を前記主ソフトキーに新たに割り当て、前記主ソフトキーの機能とは異なる一つの機能を第1の副ソフトキーに割り当てるとともに、前記主機能アイコンの表示を新たに割り当てた機能に対応させて変更し、前記第1の副ソフトキーに割り当てられた前記機能を表す第1の副機能アイコンを表示する制御手段と、

を備えたことを特徴とする携帯端末。